記者発表資料

平成２６年１２月 ５ 日
国土交通省 東北地方整備局
新庄河川事務所

第2回「蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」を開催します

国土交通省新庄河川事務所は、下記のとおり第2回「蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」を開催します。
第2回委員会では、蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画を審議します。

記

○ 日　時 ： 平成２６年１２月１１日（木）１６：００～１７：３０

○ 場　所 ： 仙台サンプラザ 3F 『宮城野』
（住所：宮城県仙台市宮城野区榴岡 5-11-1）

○ 内　容 ： 蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画について
①基礎事項編について
②計画編について

○ 委員名簿： 別紙のとおり

○ 公 開 等： １．本委員会は公開としております。
２．報道関係者の席を用意しております。
３．一般の方で委員会の傍聴を希望される方は、会場の都合により数に限りがありますので先着順とさせていただきます。

＜発表記者会： 宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会、山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会＞

＜問い合わせ先＞
国土交通省　東北地方整備局　新庄河川事務所
山形県新庄市小田島町５番５５号
ＴＥＬ：０２３３－２２－０２５１（代）
副所長（砂防）　佐藤（さとう） 勝美（かつみ）（内線２０５）
調査課長　田村（たむら） 公仁（きみひと）（内線３５１）

別紙

第２回

蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会

日　時　：平成 26 年 12 月 11 日（木）　１６：００～１７：３０
場　所　：仙台サンプラザ　3F　宮城野
司　会　：新庄河川事務所　技術副所長

議　事　次　第

１．開　会

２．挨　拶　　新庄河川事務所長

３．委員紹介

４．議　事　　進行：委員長

蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画について

１）基礎事項編について

２）計画編について

５．閉会

別紙

■蔵王山火山噴火緊急減災砂防計画検討委員会　名簿

委員構成	氏名	所属・役職等
学識経験者	丸井 英明	新潟大学 特任教授　（委員長）
	伴 雅雄	山形大学理学部 教授
	西村 太志	東北大学大学院 教授
	大場 司	秋田大学国際資源学部 教授
	井良沢 道也	岩手大学農学部 教授
専門機関	石塚 忠範	土研/火山土石流ﾁｰﾑ上席研究員
	巻 和男	気象庁仙台管区/火山防災情報調整官
	菅原 寿	山形地方気象台防災管理官
行政機関（国）	小澤 眞虎人	林野庁/仙台森林管理署長
	髙野 憲一	林野庁/山形森林管理署長
	山科 勝嗣	東北地整/河川部広域水管理官
	牧 哲史	仙台河川国道事務所長
	藤沢 和範	新庄河川事務所長
行政機関（県）	清水 信雄	山形県県土整備部砂防・災害対策課課長
	橋本 仁	山形県環境エネルギー部危機管理・くらし安心局危機管理課課長
	橋本 喜次	宮城県土木部防災砂防課課長
	山内 伸介	宮城県総務部危機対策課課長
行政機関（市町村）	市川 昭男	山形市長
	横戸 長兵衛	上山市長
	村上 英人	蔵王町長
	小山 修作	川崎町長
	風間 康静	白石市長
	小関 幸一	七ヶ宿町長
事務局	新庄河川事務所 調査課 仙台河川国道事務所 調査第一課	

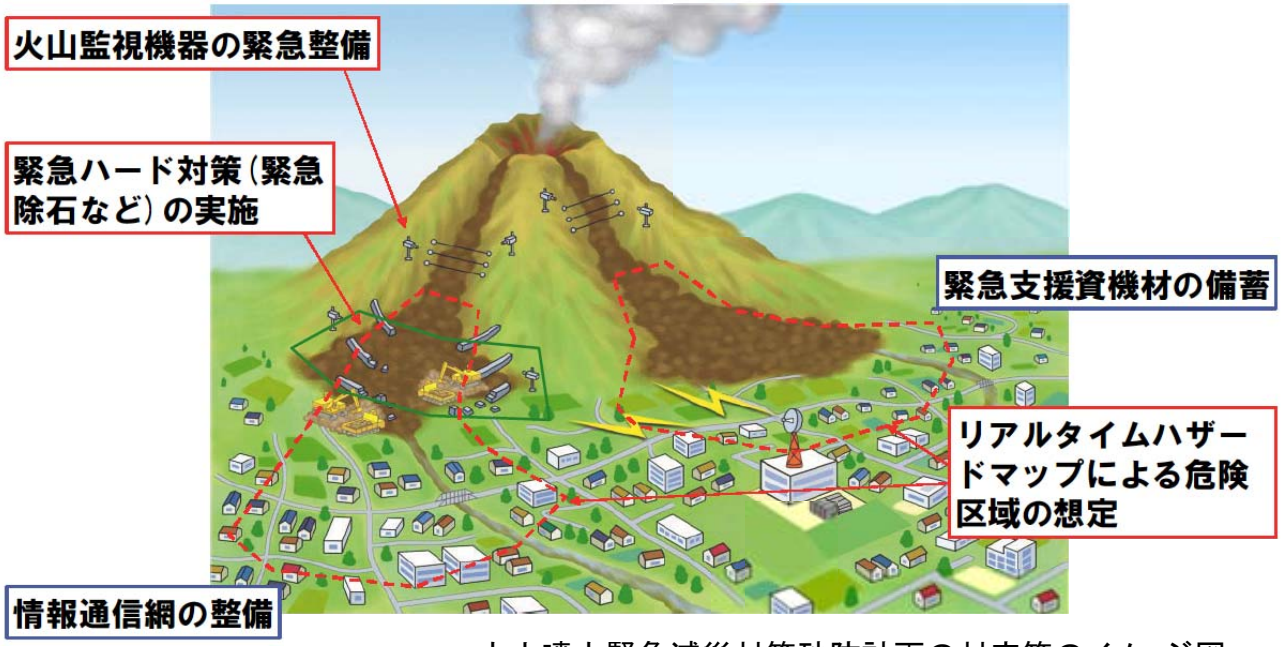
蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画

・ 国土交通省では平成19年度より、火山噴火に伴い発生する土砂災害に対して、緊急対策を迅速かつ効果的に実施し、被害をできる限り軽減（減災）するために「火山噴火緊急減災対策砂防計画」を策定することとしています。

・ 蔵王山は計画の策定に向け、平成25年2月に、学識者と関係行政機関からなる本委員会を設置し、噴火シナリオなどを検討して参りました。

・「蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画」は平成26年度内の策定を予定しております。

・宮城・山形両県が設置した「蔵王山火山防災連絡協議会」（10月31日設置）において、今後、火山の避難対策などについて議論されていくことになりますので、東北地方整備局では「蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」でとりまとめる噴火シナリオ、火山ハザードマップを適宜情報提供するなど積極的に協力して参ります。



火山噴火緊急減災対策砂防計画の対応策のイメージ図